

令和元年

目黒区教育委員会

第31回定例会会議録

(令和元年9月3日開催)

第31回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和元年9月3日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第1	報告事項	令和元年第3回区議会定例会一般質問通告について
日程第2	報告事項	目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園について
日程第3	報告事項	令和元年度夏季休業中における教育活動及び教員研修の実施状況等について
日程第4	報告事項	目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業実施結果について
日程第5	報告事項	夏季休業明けの幼児・児童・生徒の欠席状況について
日程第6	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和元年第31回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、笹尾委員
です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和元年第3回区議会定例会一般質問通告について(報告事
項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程2を議題とします。

(日程第2 目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程3を議題とします。

(日程第3 令和元年度夏季休業中における教育活動及び教員研修の実施状
況等について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
○委員 まず、夏季休業中における教育活動についてですが、大岡山小
学校では学習教室、駒場小学校では学習教室と水泳指導が工事の
ため実施されていないということですが、このことについて事前
にきちんと保護者の方々に説明されましたか。また、保護者の方々
から何か意見がありましたか。
あと、3ページの教育指導課主催研修についてですけれども、
職層研修の対象者は何人で、実際にどのくらいの割合が参加され
たのか教えてください。
また、4ページのリーダー育成研修についてですが、これは小

学校の教員の方しか参加していませんが、何か理由があるのでしょうか。学校マネジメント講座は、中学校の先生も参加してもよいと思うのですが、小学校の先生しか参加されていない理由が分かれば教えてください。

○説明員 大岡山小学校と駒場小学校の件につきましては、事前に保護者の方々に説明いたしました。その件について保護者の方々から学校に苦情等が入ったという報告はございません。

それから、職層研修の対象者についてでございますが、合計で267名で、参加者の割合は全体の94.8%でした。事情により受講できなかった場合は、他地区で受講したり、レポートを出したり、来年度受講する者もございます。

続きまして、リーダー育成研修でございますが、こちら東京都教育委員会が実施する学校リーダー育成プログラムの研修の一部として、区市町村教育委員会が実施主体となって行う研修でございます。各小・中学校の管理職が推薦した教員又は希望者が参加する研修となっております。今回は推薦者が中学校ではいなかったということでございます。

○委員 夏季休業中における教育活動については、保護者から意見がなかったということですが、駒場小学校が主催で行う和太鼓などの体験教室は、学校ではないところで実施したのでしょうか。

また、職層研修につきましては、教員の方々が100%参加されるという理解でよろしいですか。

最後に、リーダー育成研修については、中学校では推薦者も希望者もいなかったということよろしいでしょうか。

○説明員 駒場小学校の体験教室ですが、近隣の私立の施設を借りて実施したと聞いております。

それから、職層研修でございますが、こちらは悉皆研修となっておりますので、全教員が受講するように計画しております。

それから、中学校のリーダー育成研修ですが、こちらは希望者も管理職による推薦者もいませんでした。今年はそういう状況です。

○委員 リーダー育成研修に関して、中学校では推薦者も希望者もいなかったということ、事務局としてどのように捉えていらっしゃるのか教えてください。

○説明員 リーダー育成研修は、今ご説明しましたように、将来管理職を目指すための人を対象にした研修となっておりますけれども、中

学校については、将来管理職を目指そうという人が少なくなっているという全般的な課題がございます。

事務局でも、教員にマネジメント講座を受講させて、将来管理職を目指してほしいと指導するよう、中学校の校長に働きかけているところではありますが、今年は残念ながらいませんでしたので、これからも働きかけを続けていきたいと考えているところでございます。

○委員 夏季休業については、先生方の研修の期間でもあるとテレビ番組で時々放映されており、多くの保護者の方々もそう認識されていると思います。

そこで、先生方もしっかりと勉強しているという情報を保護者にも何らかの形で伝えることが必要だと思いますので、こういった資料を保護者の方々に配布する予定はありますか。

○説明員 各小・中学校・園におきましては、夏季休業前後に保護者会を予定しておりまして、その中で校長などから、夏休みの教員の過ごし方を報告する学校もでございます。今後校園長会で、夏季休業中の教員の過ごし方についても情報提供するよう各校・園にお願いしていきたいと考えてございます。

○委員 よろしくお願ひします。

それから、3ページの職層研修の1番目にあります主幹教諭研修のタイトルが「PDCAの理解と実践」となっています。民間会社の方を講師にお招きして行う研修ということで、目黒区で教員になられている方全員に知っていただきたい内容だと思います。このような取り組みを広げていくことが必要になると思うのですが、事務局としてのお考えを伺いたいです。

○説明員 この研修に限らず、各教員が受けた研修については、各校に持ち帰り、伝達、資料提供等を含めて、各校の教員全員に伝えるよう日頃から指導しているところでございますので、そのことを徹底していきたいと考えてございます。

○説明員 先ほど、PDCAの理解は非常に大事だと委員がおっしゃっていたとおり、事務局でもそのように考えております。新しい学習指導要領では、カリキュラムマネジメントの充実が求められているところでございます。カリキュラムマネジメントの中でPDCAサイクルを充実させ、改善をしていくことの大切さについても、各研修会等でお伝えをしているところでございます。

○委員 先ほど、中学校で管理職になろうとする人が少ないとおっしゃ

いましたが、管理職を希望する人が少ないというのは、組織的に危機的な状況だと思います。中学校で管理職になりたい人が少ないのはなぜなのでしょう。

○説明員 中学校の教員の中には、子どもたちに直接指導を行うことに生きがいを感じている人が多い一方で、教育管理職の魅力というのが、現場の授業を行っている主任教諭や主幹教諭に伝わっていないため、なり手が少ないのではないかと考えます。

教育管理職、特に副校長は非常に忙しい職でもありますので、その姿を見ながら、教育管理職を務めることは難しいと思う教員も多く、管理職の魅力を積極的に伝えていく取り組みが必要であると考えています。

○教育長 教員の世界は今、負の連鎖に陥ってしまっていて、働き方改革を実現していかないとプラスの方向に循環しないという状況にあります。

保護者対応、学校内での様々な人間関係などもあり、現在教員試験の受験倍率は低迷しております。これについては全国都市教育長協議会を通して、文部科学省に教職員定数の増を引き続き要望しております。いきなり望ましい姿にはなれませんが、一步一步状況を改善していくことが大切なことだと思います。

○教育長 本件に関連して、夏季休業中における自由研究についてお伺いしたいことがあります。夏季休業明けに提出される自由研究がマスコミでも話題になっており、昨日のテレビでもその問題が出ていました。自由研究をほとんど親がやっているのではないかとか、市販のキットを使っているとか、研究を業者に依頼しているなどです。

自由研究の根拠と実態、対応について、事務局の意見をお聞かせください。

○説明員 自由研究につきましては、各学校の判断で子どもたちに課題として出しているものでございます。ですので、全学校で自由研究を夏季休業中の課題として出しているかどうかは全てを把握してはいないところでございます。ただ、基本的には自由研究が出されている学校が多くございます。

自由研究の内容につきましては、社会的なもの、理科的なものについて、自分で課題を見つけて調べて、それをレポートにまとめていくというものや、工作的なもので、何か作品をつくって提出するというもの、日記のような形で、毎日自分で決めて取り組

むもの、読書感想文のようなものや、各教員が児童・生徒の実態を見て、適切な課題を与え、提出させるというものなどがございます。

報道等に親がやっているというお話がありましたが、本来、自由研究というのは、学校ではなかなか行うことができない課題を自分自身で見つけ、主体的に学び、問題解決能力を高めるため、非常に重要なものであると認識しております。

ですので、親と一緒に自由研究をやることを通して、自分自身の問題解決の能力や、探求的な好奇心を高めていくことも非常に大事だと思います。親が手伝うことによって、子どもに有益な場合もあると思います。例えば、科学館や博物館など、なかなか行けない場所に親子で一緒に行き、研究を進めることも有意義であると考えてございます。

○教育長 事務局がおっしゃるとおりだと思います。我々も昔、自由研究を行いました。野山を駆け回り、昆虫採集をしたり、図鑑で調べ学習をしたり、あるいは海へ行って貝殻を拾い、貝の名前を図鑑で調べました。知的創造教育としては非常に良い教育だと思います。

ただ、実際に業者に丸投げすることや、市販のキットを使うことは、何らかの改善が必要だと思いますので、今後の課題として受けとめておいていただきたいと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業実施結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 イングリッシュキャンプについてお伺いしたいのですが、大鳥中学校の2年生が50名と書かれていますが、これは何人中50名だったか、分かれば教えてください。

それから、イングリッシュ・デイ・キャンプもイングリッシュキャンプも、終わった後のアンケートでは、満足した、英語をもっと話せるようになりたい、英語に興味・関心を持ったと、ほぼ

100%好意的に書かれています。語学力を維持するには継続的な勉強が必要であり、生徒の勉強への意欲を維持する取組を行うことが大事だと思います。

きっかけづくりだけでしたら、このイングリッシュキャンプも有効だと思います。例えば大鳥中学校などは学年単位でこの事業を行っているので、今後この事業での体験を題材とした学習を行うことで、モチベーションの維持につなげることができると思いますが、それ以外の参加者については、何らかの仕組みづくりが必要だと思います。イングリッシュ・デイ・キャンプは英語に親しみ、興味・関心を持ってもらうというきっかけづくりだけが目的ならば、これで良いと思いますが、その後のことに関しては、事務局としてはどのようにお考えでしょうか。

○説明員

まず、大鳥中学校のイングリッシュキャンプにつきましては、対象としています第2学年の生徒数が150名で、そのうちの50名が参加しました。3分の1が参加したということでございます。

また、今後もモチベーションを維持するため、英語に親しむ場を学校の中で提供することや、英語を活用できる取り組みを増やしていくことは、非常に大事だと思っております。

大鳥中学校の開校時の特色としまして、英語教育に力を入れてございます。普段の英語の教科学習を充実させるとともに、英語を話す場として、イングリッシュストリートという名前の廊下を設定するなど、できるだけ英語に親しむ場をつくるための工夫を進めているところでございます。

○委員

とても良い取り組みだと思いますので、イングリッシュ・デイ・キャンプに行った生徒たちにも、今後継続して英語を学び続けるための仕組みを中学校全体で考えていただきたいです。大鳥中学校の取り組みが有効であれば、その取り組みを他の中学校も手本とすることを検討していただきたいです。せっかく英語の学習へのモチベーションが上がっているのに、そのモチベーションを維持していける取り組みを中学校全体で考えていただくようお願いいたします。これは要望です。

○教育長

英語検定の受験なども予定されておりますので、そういったことも含めて、検討していただきたいと思っております。

○委員

夏季休業中における体験教室で、英語の体験教室をやっている小学校が6校ほどあります。先進的にやっけていただいているので、

このような体験学習がもっと広がっていけば良いと思います。

私は、小学校での英語教育の充実が、教科として採用されるだけでなく、このキャンプのように児童の自主的な活動も必要だと思うので、今後小学校の英語教育の計画を立てる上で、このような活動も是非検討してください。

それから、大学教育を経て、すぐ小学校や中学校の先生になりますと、英語に苦手意識を持っている若手教員もいると思いますので、そういった人たちにも何らかの体験学習が必要になると思います。その点についても、前向きにご検討ください。これは要望です。

○教育長 大鳥中学校のイングリッシュキャンプの対象者は150名で、約3分の1が参加を希望したとのことですが、参加を希望しない主な理由を教えてください。また、その理由の中に、経済的な理由で行かない、又は行けないというものがありましたか。

○説明員 大鳥中学校の事業につきましては、希望しない生徒の理由をこちらで把握しておりません。ただ、夏季休業中に塾の夏期講習等があり、参加することができない生徒がいたことは認識しております。

経済的な理由につきましては、事務局にそのような声は届いておりませんし、経済的な理由により参加しなかった、又は参加できなかった生徒がいるとは認識しておりません。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 夏季休業明けの幼児・児童・生徒の欠席状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 夏の電話相談が0件だったということですが、今の子どもたちは、電話よりもSNSで、気軽に相談したいという要望が大きいと思います。今後この取り組みをSNSに展開させていくことは考えていますか。

○説明員 SNSによる取り組みは、東京都で既に実施しておりまして、そちらの案内は各小・中学校でしているところでございます。利

用状況等、東京都の取り組み状況を踏まえて、区の今後の方向性を検討していきたいと考えてございます。

○教育長 東京都のLINEを使った電話相談事業ですが、これは全国的に今広がりつつあります。私も登録していますが、「相談する」というポップが出てきて、相談しやすい工夫がなされています。この取り組みは、これから色々な自治体に広がっていくと思いますので、そういった動向を注視しながら、本区での取り組みについて今後検討していきたいと思っております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長 その他なにかございますか。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時19分閉会)